

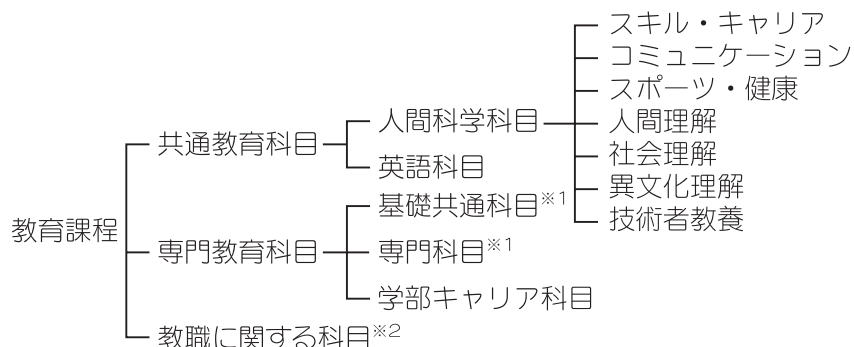
1 授業科目について

未来科学部で本年度に開講される授業科目は、授業科目配当表のとおりです。授業科目配当表には ①教育課程（授業科目）、②単位数、③科目区分（必修、選択、自由科目）、④配当学年、⑤配当期（前期、後期、通年等）、⑥毎週授業時限数（コマ数）などが記載されています。

なお、授業科目配当表は、入学時から卒業までに配当されている全授業科目が記載されています。4年間で卒業することが原則ですが、進級判定や卒業判定により、留年や卒業が延期となった場合でも、入学時に配当された科目によって進級・卒業条件を満たさなければなりません。

1-1 教育課程（カリキュラム）

本学部では教育課程（カリキュラム）を、次のように構成しています。



※1 数学・物理・化学関連科目は基礎共通科目、及び専門科目に含まれます。

※2 「教職に関する科目」の詳細は、「教職課程」の項を参照してください。

*外国人留学生については、本学規程に基づく履修科目の特例として、特別の科目を履修することができます。詳細は「留学生学習案内」を参照してください。

1-2 カリキュラム年度

入学時に配当されるカリキュラムの年度のことです（カリキュラム年度は UNIPA の【個人別情報】画面で確認できます）。

カリキュラム年度は、卒業するまで同じカリキュラム年度です。

カリキュラムとは、授業科目配当表や進級条件・卒業条件など、卒業までの条件の組合せのことです。同一学科・学年であっても、カリキュラム年度によって配当されている科目や単位数、必修・選択区分が異なる場合があります。

2013年度に入学した学生のカリキュラム : 2013年度カリキュラム

1-3 キャリア科目

未来科学部では、学生が卒業後に社会的・職業的自立につながる就業力を育成するためのキャリア科目を各学年に展開しています。

- 1年次 フレッシュマンセミナー（前期） 東京電機大学で学ぶ（前期）
- 2年次 未来科学キャリアワークショップ（前期／後期）
- 3年次 未来科学プロジェクトA（前期／後期）
- 4年次 未来科学プロジェクトB（前期／後期）

※2年次の未来科学キャリアワークショップは必修科目です。

※1年次科目は人間科学科目に、2～4年次科目は専門教育科目（学部キャリア科目）に担当しています。

1-4 単位数

大学では、各科目の形態に応じて単位数が定められています。単位とは科目の学修量を数値化したものです。授業科目の1単位は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。

各科目の単位は、その授業方法・授業時間外に必要な学修を考慮し、次の基準により計算します。

科目種別	基準
講義及び演習	15時間の授業をもって1単位
実験・実習・製図及び実技	30時間の授業をもって1単位
卒業研究等	学習の成果を考慮して単位数を定めています。

※必要な学修時間の計算例

(h = 時間)

科目形態		科目の単位数	必要時間①	授業時間数②	授業時間外に必要な学修時間（週あたり）
講義・演習	半期科目 15hで1単位	2単位	45h×2単位 =90h	15h×2単位 =30h	(①90h-②30h)÷15週 ⇒4h
	半期科目 15hで1単位	3単位	45h×3単位 =135h	15h×3単位 =45h	(①135h-②45h)÷15週 ⇒6h
実験・実習等	通年科目 30hで1単位	3単位	45h×3単位 =135h	30h×3単位 =90h	(①135h-②90h)÷30週 ⇒1.5h

1単位は45時間の学修を標準としていますので、授業以外の時間は、自ら授業時間外の学修として行うこととなります。

1-5 科目の区分（必修・選択・自由科目）

科目には次の区分があり、「授業科目配当表」に記載されています。

区分	区分の詳細	内容
必修科目	必修科目	単位修得が義務づけられている科目。進級や卒業するためには必ず単位を修得しなければいけない。
	択一必修科目	指定の数科目のうちから1科目のみ必ず選択し、選択したものが必修となる科目。
選択科目	選択科目	各人の意思により選択する科目。単位修得の義務はないが、卒業所要単位数に算入される科目。但し、各学科・コースの「進級条件」「卒業条件」「履修モデル」等に留意すること。
	他学部他学科科目（選択科目）	他学部他学科科目を履修・修得し、上記の「選択科目」同様の扱いとする科目。
自由科目	自由科目	修得すれば単位は修得できるが、進級・卒業所要単位数には算入されない科目。
	他学部他学科科目（自由科目）※	他学部他学科科目を履修・修得し、上記の「自由科目」同様の扱いとする科目。

※ 他学部他学科科目については、「3-4 特別な履修登録」を参照してください。

1-6 配当学年

科目は、カリキュラム上、体系的に関連づけられており、学習が効果的に行われるよう開講される学年が予め定められています。従って、学生は自分の学年に配当された科目（再履修の場合は、自分の学年より下級学年次に配当された科目）を原則履修することになります。そのため、上級学年に配当された科目は特別の場合を除いて履修できません（学年配当の原則）。

上級学年次に配当された科目の履修については、各学科の指定によります。

	建築学科	情報メディア学科	音楽・文化学科
履修の可否	原則履修を認めない	学科の定める条件を満たす場合履修を認める（自学科に配当された専門教育科目のみ）	学科の定める条件を満たす場合履修を認める（自学科に配当された専門教育科目のみ）
進級条件への算入（上級学年次配当科目）	—	現学年次の進級条件に算入	当該科目配当学年次の進級条件に算入

※上級学年次科目の履修方法等、詳細については掲示もしくは学科の指示に従ってください。

1-7 配当期

科目の開講される期間（配当期）により、次のように区分されます。

通 年 科 目	1 年間 30 週にわたって授業がおこなわれる科目
前 期 科 目	前期半年間 15 週にわたって授業がおこなわれる科目
後 期 科 目	後期半年間 15 週にわたって授業がおこなわれる科目
四半期（前前期、前後期、後前期、後後期）科目	1/4 年間 8 週にわたって授業がおこなわれる科目
集 中 講 義 科 目	夏季・冬季など休業中などの一定期間に、連続集中して授業がおこなわれる科目。集中講義科目の時間割は講義開始の数週間前に掲示で発表されます。

1-8 毎週授業時限数（コマ）

授業科目配当表上の時限（コマ）のことです。1 とあれば 1 週間に 1 時限（1 コマ = 90 分）開講していることを意味します。

1-9 担当教員

担当教員には常勤教員と非常勤教員がいます。非常勤教員は、本学専属の教員ではありませんが、原則として、担当科目がある日・時限は大学にいる事になっています。授業担当教員に用事がある場合は、直接授業教室へ行くか、講師室（2 号館 3 階）まで来てください。また、シラバスに連絡先が記載されている場合があります。質問したい事項が発生した場合、授業終了後に質問するなど、早めに確認を取るよう心がけてください。

2 授業について

2-1 学年と学期

授業は一定の期間継続して行われます。期間には、「学年」と「学期」という概念があります。

学 年 :4月1日から翌年3月31日まで

学年は次の2学期に分けられます。

前学期 :4月1日から9月上旬まで

後学期 :9月上旬から3月31日まで

但し、必要に応じこの期間を変更することがありますので、その年の学事日程で確認してください。

また、授業日程の年間スケジュールは、毎年掲示で確認してください。授業日数を確保するため、休日・祝祭日等に授業を行う日程を設ける場合があります。

2-2 時限と時間

時 限	1	2	3	4	5	6	7
時 間	9 : 00 } 10 : 30	10 : 40 } 12 : 10	13 : 10 } 14 : 40	14 : 50 } 16 : 20	16 : 30 } 18 : 00	18 : 10 } 19 : 40	19 : 50 } 21 : 20

※昼間学部の正課授業は1時限から5時限、夜間学部の正課授業は5時限から7時限に実施されます。通常とは異なる時限に補講が行われる場合もあります。

※他キャンパスとの遠隔講義等においては、上記とは異なる時限で講義を行うことがあります。

2-3 時間割

(1) 時間割表

各科目は週単位で決められた「時間割」に従って行われます。

時間割は「UNIPA」で確認することが出来ます。操作方法は、UNIPAの説明ページを参照してください。

(2) 時間割の変更

曜日・時限などに変更が生じた場合、掲示により周知します。

(3) 注意事項

科目を受ける際は、授業科目配当表、時間割表などをよく確認のうえ、間違いのないように受講してください。

2-4 クラス編成と授業ガイダンス

同一科目で複数のクラスがある場合、科目によっては受講クラスが指定される（クラス分けされる）ことがあります。特に英語科目や演習科目は複数のクラスが編成されますので、受講するクラス（担当教員や曜日など）を間違えないよう掲示やガイダンスでの指示を確認してください。

実験・実習・実技・英語科目等の科目においては、授業開始第一週に授業ガイダンスがおこなわれる場合があります。日程等は掲示によりその都度周知します。授業ガイダンスに出席しないと、クラス編成の都合上、履修に支障が出る場合がありますので必ず出席してください。

2-5 休 講

次の場合、休講とします。休講は原則掲示にて周知します。

- (1) 授業科目担当教員にやむを得ない理由が生じた場合
- (2) 休講の掲示がなく、授業開始時間から 30 分を経過しても授業科目担当教員がやむを得ない理由で講義を開始できない場合（自然休講と呼びます）
- (3) 大学の行事を行う場合
- (4) 交通ストライキや自然災害等、不足の事態が生じた場合（「交通機関のストライキおよび自然災害発生時等の授業措置について」の項（p.11）参照）

2-6 補 講

授業回数が不足した場合や学習の到達目標を達成していないと教員が判断した場合など、必要に応じて補充の授業を行うことがあります。補講の有無は、原則掲示にて周知します。

2-7 欠席について

忌引、病気・怪我、課外活動などで、やむを得ず欠席した場合は、工学部・未来科学部事務部窓口または工学部・未来科学部事務部ホームページで欠席届の用紙を入手し、必要事項を記入の上、診断書等の欠席を証明できる書類を添えて授業科目担当教員に提出・説明してください（欠席日数が 1 週間を超える場合は、工学部・未来科学部事務部教務担当窓口へ提出）。

但し、公欠制度はありません。届出に対して大学（授業科目担当教員等）が判断をします。

正当な理由がなく、無届けで、引き続き 3 ヶ月以上欠席した者は除籍対象者となります。また、授業への出席状態が悪く、履修を途中で放棄したと担当教員が判断したときは、成績が「-」（放棄）となります。

2-8 出欠調査

授業の出欠調査には学生証が必要です（「出席について」の項（p.9）を参照）。

2-9 期限厳守について

履修登録、レポートなどの提出物には、必ず期限が定められています。期限を守らないと申請や評価を受けられないこととなりますので、指定事項（期限や提出場所など）は必ず厳守してください。

2号館3階のレポートBOXに関しては、提出期限を過ぎてレポートBOXを撤去した後の提出は受付できませんので注意してください。

2-10 授業アンケートについて

授業をより良くするために「授業アンケート」を実施し、結果を公開しています。授業内容の向上につながるため、率直な意見を記載してください。但し、一時的な感情やいい加減な考えではなく、科目での様子をできるだけ正しく伝えるようにしてください。

アンケート結果は、工学部・未来科学部事務部のwebサイト等で公開する予定です。

2-11 e-Campus 科目について

東京電機大学の4学部（工学部・未来科学部・理工学部・情報環境学部）では、平成18年度より、多彩な勉学機会を提供するため、各キャンパスをネットワークシステムで結び、遠隔講義を行っています。遠隔講義を行う科目は別途掲示で確認してください（開講しない場合もあります）。

※他学部他学科に配当されている科目の場合、他学部他学科科目の履修登録が必要です。

※授業時間は原則、実施科目のキャンパスの時間帯で行われます。

授業時間帯はキャンパス毎に異なります。時間割の重複は出来ませんので、履修する際は実施の時間帯に注意して申請してください。

2-12 学習サポートセンター

大学での学修において、基礎学力は非常に重要です。学習サポートセンターでは、基礎学力の向上を支援しています。上級学年で学習する科目の理解力（応用力）を高めると共に、高校時代に学習した内容の理解に不安がある場合にも対応します。

教員構成 本学専任・非常勤教員のほかに、学習サポートセンター指導員らの少数による講義や質問の対応、指導を行います。

対象科目 数学・物理・英語

実施形態 ①個別指導による学習支援

②グループ学習（ミニ講義や補習などの時間割制による講義形式等）。

※数学科目のミニ講義は、講義内容が授業に合わせ2週程度で変更となります（詳細は掲示で周知します）。

※英語科目のミニ講義については、掲示または英語系列のホームページを参照してください。

実施場所 学習サポートセンター 4号館3階 40313室

3 履修計画・履修届

3-1 履修計画

大学では、4年間の学習について「主体性」が求められます。次の点を考慮して履修計画を立ててください。

(1) 必要な資料を確認する

資料名	内容
学生要覧（本冊子）	「各学科の理念」「履修モデル」「授業科目配当表」「進級条件」「卒業条件」などの各種の決まりごとを確認する
時間割表（UNIPA）	科目の開講曜日・時限などを確認する
シラバス（UNIPA）	科目の内容、教科書、クラス分け・ガイダンス情報などを確認する
掲示（UNIPA）	履修登録期間・クラス分け・ガイダンス情報などを確認する

(2) 注意点

- ①卒業までの履修計画を立て、各年度の履修登録を行う。
- ②履修モデル・授業科目配当表・シラバス・初回の授業ガイダンスを参考に履修登録する。
- ③必修科目も、自分自身で履修登録する。
- ④上級年次になってから単位不足に陥ることのないよう、余裕をもって履修登録する（履修登録単位数の上限（24単位/半期）に注意する）。
- ⑤進級条件、卒業条件を満たせるよう、毎年単位修得状況に注意して履修登録する。

3-2 履修制限

4年間を通し計画的に履修し、内容を充分理解することを目的として、履修制限が設定されています。履修する際は、この履修制限を超えて履修登録をすることはできませんので、十分注意し、しっかり履修計画を立てるようにしてください。

- ①履修登録時に履修できる単位数は半期に24単位までです。
但し、自由科目、集中講義科目は履修制限には含みません。
- ②優秀な成績で各学期を終了した学生には、上限を超えて4単位の履修ができる制度があります。

履修制限を超えて履修登録を許可する評価基準

- 次の両基準を満たす者に対して、半期4単位まで上限単位数を超えての履修を認める。
- (1) 前学期に20単位以上の履修登録を行い90%以上の単位を修得していること。
 - (2) GPAが3.1以上であること。

3-3 履修登録

履修登録は、前期に前期科目・前前期科目・前後期科目・通年科目・集中講義科目などを、後期に後期科目・後前期科目・後後期科目・集中講義科目などを、それぞれ登録します。

履修登録の種類は、主に「UNIPAで申請する科目」「専用用紙で申請する科目」など

がありますが、具体的な方法や履修登録期間などの詳細は掲示にて連絡します。必ず期間内に自分で履修登録をするようにしてください。

【履修登録上の主な注意点】

重複受講の禁止	履修する科目が授業時間割上重複するときは、必修科目、選択科目を問わず、そのうちの1科目しか履修登録できません。例外については、「3-4 特別な履修登録」を参照。
変更の禁止	指定した履修登録・修正期間後の授業科目の履修変更は認められません。
無届科目	履修登録されていない科目の受講・受験は認められません。学力考査の受験資格の付与や単位の認定もされません。
履修放棄	履修登録した科目を授業期間中に放棄（長期欠席）したり、学力考査を受験しないときは、成績評価は放棄「-」となる場合があります。

3-4 特別な履修登録

(1) UNIPA で申請するもの

履修の種類と対象	注意点など
他学部他学科科目履修	<p>自分の所属学科に配当されていない科目を一定の要件を満たすことにより、履修することができます（他学部他学科科目履修制度）。</p> <p>【以下の基準を満たす場合、申請可能】</p> <p>①自分の所属学科に配当がない（内容の類似する科目がない） ②自分の学年次以下に配当されている科目（上級学年次科目は不可） ③当該科目の人数に余裕がある場合</p> <p>但し、①工学部第一部（全学科）の科目は申請できません。 ②工学部第二部の電気電子工学科（NE）、機械工学科（NM）、情報通信工学科（NC）の科目は申請可能です。</p> <p>他学部他学科科目の履修を希望するときは、指定する履修登録期間に履修申請を行ってください。申請した科目の許可・不許可については、後日掲示で発表します。</p> <p>【他学部他学科科目にて修得した科目の扱い】</p> <p>①必修科目・選択科目は、当該学生の所属するそれぞれの区分の選択科目として扱います。 ②自由科目は、自由科目として扱います。</p> <p>【区別卒業所要単位数への算入について】</p> <p>他の大学等における授業科目の履修により本大学における授業科目の履修とみなし、修得できる単位（学則）と合わせて60単位を超えることはできません。</p>
教職課程科目	<p>教職課程を履修したいときは、履修登録期間に登録となります（詳細は「教職課程」の項（p.116）を参照してください）。ただし、1年次前期は履修できません。</p>

(2) 専用用紙で申請するもの

履修の種類と対象	注意点など
重複履修許可願	履修を希望する科目が、授業時間割上、同一曜日の同一時限に2科目以上重複している場合、その一方のみ、履修が許可されます（重複受講の禁止）。しかし、例外として重複履修が認められる場合があり、あらかじめ周知されます。希望者は左記の専用用紙にて履修申請する必要があります。
東京理工系大学による学術と教育の交流に関する協定に基づく、学生交流（単位互換）のための履修願	東京理工系大学とは、本学、芝浦工業大学、東京都市大学、工学院大学を指します。この四大学間で、平成11年4月より、学生交流（単位互換）の履修制度が実施されています。履修できる科目、履修方法、単位の認定、各判定時の科目の扱い等についての詳細は、掲示でお知らせします。
転学部・編入学・転学科・再入学者等の特別履修願	単位認定の関係上等の理由により、他の学部、学科、上級年次科目履修など、通常外の履修を希望する時は、左記の専用用紙にて履修申請することができます。左記の専用用紙に所定の事項を記入し、事前に担当教員の承認印を得た上で、用紙の提出をしてください。提出締切後、工学部・未来科学部事務部で一括して学科長の承認を受けます。許可・不許可については後日掲示により知らせます。
前期末卒業のための通年科目前期末評価実施願	卒業延期者（3月末時点）が前期末卒業を希望する場合、前年度授業に出席し、試験を受け不合格であった通年科目は、必修科目・選択科目を問わずこの願を提出し、受理されることにより前期末に評価してもらえることとなります。左記の専用用紙に必要事項を明記し、事前に担当教員の承認印を得た上で、工学部・未来科学部事務部へ提出してください。提出締切後、工学部・未来科学部事務部で一括して学科長の承認を受けます。なお詳細は「前期末卒業」の項を参照してください。

※履修登録の方法・申請時期等の詳細や修正点などについては、掲示にて周知します。

※「特別な履修登録」の申請を行う場合には、科目担当教員に予め相談してください。

4 学力考査

科目の履修状況を評価し、単位を認定するための材料として学力考査がおこなわれます。学力考査は、筆記による学力考査（学期末・中間・毎回の授業内など）・レポート・平常点の評価などの方法でおこなわれます。いずれの形態で学力考査を実施するかについては、「学力考査実施要領」にて案内します。「学力考査実施要領」は掲示にて周知します。

4-1 学力考査

(1) 受験資格

次の4つの条件を原則全て満たしていなければなりません。但し、休学期間中は学力考査を受けることはできません。

- ① その科目の履修登録を完了していること。
- ② その科目に常時出席していること。
- ③ その学期までの学費を納入していること。
- ④ 通年科目で、前・後期の2回学力考査がおこなわれる科目の後期学力考査を受験するには、前期学力考査を受験していること。

(2) 実施方法等

科目担当教員の指定する方法・日程・時限で実施します。

(3) 学力考査受験上の心得

① 学生証の呈示

教室では、必ず学生証を常に机の上、通路側の見やすい場所に呈示してください。万一当日携帯していないときは、2号館3階にある自動証明書発行機より証明書〔仮受験票〕を出力してください（仮受験票の発行を受ける場合は有料（1,000円）となります）。

② 遅刻・退出

学力考査時の遅刻に関する取扱いについては、別途案内する掲示を確認してください。学力考査時の退出については、開始40分後から終了10分前まで可能です。

③ 学籍番号・氏名の記入

答案用紙に学年・学科・学籍番号・氏名を必ず記入してください。記入のない答案は無効となります。

④ 監督者の指示

学力考査実施時間中は、監督者が一切の権限を有します。監督者の指示に従わない者、または私語など受験態度不良の者には退室を命じることがあります。また、学力考査時間中、筆記用具・消ゴムなどの貸借は監督者の許可がなければできません。

⑤ 不正行為

カンニングなど不正行為をした場合、退学・停学・訓告などの懲戒処分になるとともに、当該科目の属する学力考査の全科目が無効となります。

「当該科目の属する」の範囲には、学力考査実施要領発表後に実施されるレポート科目等も含まれます。

⑥ 受験棄権

時間途中で受験を中止する場合でも、答案用紙に学年・学科・学籍番号・氏名を記入して提出してください（受験した科目の答案用紙は、持ち帰る事はできません。誤って持ち帰った場合でも、不正行為とみなされる場合がありますので注意してください）。

(4) 学力考査予備日

通常の授業実施時限とは異なる日程で、学力考査を実施する日を学力考査予備日と呼びます。同日程で学力考査を実施する科目は、学力考査実施要領にて発表します。

①受験資格のほか、各種の条件ならびに遵守すべき事項は、授業中に実施する学力考

査に準じます。但し、科目担当教員が指定する条件等がある場合は、それに従ってください。

②時間割・試験室などについては、掲示で発表します。学力考査予備日に実施する学力考査は、通常の授業時間とは異なりますので注意してください。

[学力考査予備日の時限と時間] (各 80 分)

時限	1	2	3	4	5	6	7
時間	9:30	11:10	13:30	15:10	16:45	18:20	19:55
	∪	∪	∪	∪	∪	∪	∪
	10:50	12:30	14:50	16:30	18:05	19:40	21:15

昼間学部は、原則 1 時限から 4 時限に学力考査を実施しますが、科目によっては 5 時限以降に学力考査を実施する場合があります。

4-2 追試験

急病など真に止むを得ない理由で学力考査を欠席した場合は、追試験が行われることがあります。追試験を実施するかどうかは科目担当教員に任されており、追試験願を提出しても追試験が実施されるとは限りません。できる限り指定された日の学力考査を受けてください。追試験を希望する場合は所定の手続きが必要になります。

(1) 不正行為

カンニングなど不正行為をした場合、退学・停学・訓告などの懲戒処分になるとともに、当該科目の属する追試験及び学力考査（予備日実施も含む）の全科目が無効となります。

「当該科目の属する」の範囲には、学力考査実施要領発表後に実施される学力考査科目・レポート科目等も含まれます。

(2) 追試験願の提出が認められる理由

次の 4 つの場合のみ、証明書類を添付して追試験願を提出することができます。

- ① 本人の病気のため受験が全く不可能な場合。(医師の診断書)
- ② 2親等以内の親族の危篤・死亡の場合。(証明する書類)
- ③ 交通機関停止等により登校が不可能な場合。(遅延証明書)
- ④ その他、本人の責任でない真にやむを得ない事情がある場合。(理由書)

学力考査時間割の見間違い、寝坊などはやむを得ない理由とは認められません。ただし、就職試験のため学力考査を受けられなかった 4 年次生は、学科長に相談してください。

(3) 手続き

学力考査の受験資格（前記）を満たしており、上記の追試験願を提出できる理由に該当する者は、事務部が指定する提出期日までに、上記書面を添えた欠席届（追試験願）を工学部・未来科学部事務部へ提出してください。追試験の受付スケジュール・追試

験の実施の有無、いつ実施するか等は後日、掲示でお知らせします。申請した科目の追試験が実施されることになった場合は、受験手続き(受験 1 科目につき 500 円必要)を行います。

4-3 中間考査

学期の途中で担当教員が随時行う学力考査です。

(1) 不正行為

カンニングなど不正行為をした場合、退学・停学・訓告などの懲戒処分になるとともに、当該科目が無効となります。

4-4 提出物の期限

科目担当教員や工学部・未来科学部事務部から学生に提出物（履修届・レポート・製図、その他）を求めるときは、必ず「期限（締切日と締切時間）」と「提出場所（方法）」が定められます。期限を過ぎた提出物は一切受け付けません。必ず、締切日・締切時間・提出場所（方法）を確認し、その条件を遵守してください。

実験レポートは実験室が管理していますので、それらに関する問い合わせ等は直接実験室に行ってください。

5 成 績

担当教員が採点し、60 点以上の評点を得たとき合格となり、その授業科目について定められた単位数が与えられます。これを大学側から見て「単位認定」、学生側から見て「単位修得（取得）」といいます。

単位認定は、原則としてその授業科目の履修が終わる配当期の終了時点に行われます。一旦単位を修得（取得）した授業科目は、履修の修了が認定されたことになるので、再度の履修をすることはできません。

5-1 成績評価基準

成績評価基準		
評価	評点	参考
S	90点～100点	講義・実験・実習内容を十分に理解し、自在に応用できる水準にあり、より高度な内容に進むことができる。
A	80点～89点	講義・実験・実習内容を理解し、応用できる水準にあり、より高度な内容に進むことができる。
B	70点～79点	講義・実験・実習内容を知識として身につけ、部分的ではあるが応用できる水準にある。しかし、より高度な内容に進むためには、自己学習をしておくことが望ましい。
C	60点～69点	シラバスに記載されている達成目標の最低水準に達している。しかし、習得した知識を応用し、より高度な内容に進むためには、十分な自己学習を要する。
D	60点未満	シラバスに記載の達成目標を満たしていない。
—	放棄	学習を放棄したとみなされた。

5-2 評点と評価

評点は、下記の評価におきかえられ UNIPA の成績通知画面・成績証明書などに表されます。なお、評点の通知は行いません。

評価		評点・摘要	
成績証明書用	成績通知用		
S	S	90～100点	合格 (単位修得)
A	A	80～89点	
B	B	70～79点	
C	C	60～69点	
RN	RN	認定 (※1) (資格取得・他大学等の単位を認定した場合)	
RS	RS		
RA	RA		
RB	RB		
RC	RC		
	D	0～59点	不合格 (単位未修得)
	—	放棄 (※2)	
※	*	履修中 (現在履修中である状態)	

(※1) 評価「RN」は GPA 算出の計算式に算入されませんが、評価「RS～RC」は計算式に算入されます。詳細は「成績順位」の項を参照してください。

(※2) 履修登録した授業科目を受験しなかった場合や、通常の授業への出席状態が悪く担当教員が履修を途中で放棄したと判断した場合は、「—」放棄となります。

5-3 成績の通知

前年度末までの成績の通知は3月に、前期末までの成績通知は9月に行います。学生アドバイザーや各学科長から成績・履修相談を同時に行う場合もあります。

なお、学期の途中で担当教員から採点報告があっても、個々の発表は行いません。

5-4 成績順位

総合的成績評価において、GPA (Grade Point Average) を基本とします。

GPA とは、科目を履修して最終的に与えられた S・A・B・C・D・—・RS・RA・RB・RC の評価 (Grade) に 4～0 のポイント (Point) を配当し、それに単位数を掛け、取得したポイントの合計と単位数をもとに算出する平均値 (Average) です。

そのポイントと計算式は以下のとおりで、GPA の最高値は“4”となり、最高値に近いほど評価が高くなります。

$$\text{GPA} = (\text{単位加重 GP の総和}) \div (\text{履修登録単位の総和})$$

※単位加重 GP の総和＝

$$(S \cdot RS \text{ 評価の単位数}) \times 4 + (A \cdot RA \text{ 評価の単位数}) \times 3 + (B \cdot RB \text{ 評価の単位数}) \times 2 + (C \cdot RC \text{ 評価の単位数}) \times 1$$

※単位加重 GP (Grade Point) とは、取得した各科目の評価 (S・A・B・C・D・―・RS・RA・RB・RC) に次の各科目の評価を指数化するグレードポイントを掛けた数値です。

ポイント	評価	評点 (100 点法)
4	S	90 ~ 100
3	A	80 ~ 89
2	B	70 ~ 79
1	C	60 ~ 69
0	D	0 ~ 59
	—	放棄
4	RS	資格取得等による単位認定
3	RA	
2	RB	
1	RC	

- ・ 総和には自由科目及び RN 評価の科目を含まない。
- ・ 履修登録単位の総和に、履修中の単位は含まれない。
- ・ 履修登録単位の総和は、成績通知に記載の科目を対象とする。
- ・ GPA の値は小数点第 4 位を四捨五入した値となります。
- ・ 用途

学部内における判定等 (早期卒業、履修上限を超えての履修登録を許可する評価基準、その他)

※ D 評価科目及び放棄科目は 0 ポイントとなるため、放棄しない計画的な履修が結果的に GPA を上げることとなります。

5-5 単位認定

(1) 入学前に修得した単位の認定

大学または短期大学において本学部に入學する前に修得した授業科目の単位 (科目等履修生によって修得した単位を含む) のうち教授会が教育上有益と認めたものは、入學後、本学部において修得したものとして (編入學・転入學等の場合を除く) 60 単位を限度に単位を認定されることがあります。

編入學者および転学部・転学科者が既修得単位を本学部における単位として認定を希望するときは、掲示により指定された期日までに、単位認定願を工学部・未来科学部事務局へ提出してください。その中から、本学部所定の基準に対応する科目について単位認定を行います。

認定科目は、「RS・RA・RB・RC・RN」で表示されます。但し、他大学で修得した単位は、教育職員免許状を取得しようとするとき「教科に関する科目」の単位には 20 単位までしか算入されません (何ら教職課程認定を受けていない大学・短期大学から編入學した学生) ので、認定を希望しない者はその旨を工学部・未来科学部事務局 (教務担当) へ申し出てください。

(2) 資格取得による単位の認定

未来科学部では特定の資格取得者に対して所属学科の科目の単位を認定する場合があります。詳細は各学科の「履修モデル」の項を参照してください。

6 再履修

履修した授業科目の単位を修得できなかったときは、その科目の履修をもう一度はじめからやり直す(再履修)こととなります。その際、次の点に留意してください。

- ① 必修科目(択一必修科目を含む)の単位を修得できなかったときは、必ず再履修する必要があります。
- ② 選択科目の単位を修得できなかったときに再履修するかどうかは、各自の意志にまかされますが、卒業に必要な単位数は確保するよう再履修科目を決めてください。
- ③ 再履修科目の配当条件に変更があったときは、別途、周知される再履修方法などを参照し、単位未修得科目に対応する授業科目を誤りなく再履修してください。
- ④ 再履修する授業科目の単位数が変更になった場合でも、再履修の結果合格したときは自分のカリキュラム年度配当科目の単位数が与えられます。
- ⑤ 再履修科目の担当教員が前年度と変更になった場合は、当該年度担当教員のもとで再履修してください。
- ⑥ 再履修科目と自分の学年次配当科目とが授業時間割上重複した場合、原則どちらか一方の科目しか履修することはできません(重複受講の禁止)。「履修登録」の項を参照してください。
- ⑦ 再履修科目の履修登録・学力考査などについては、通常の履修科目の場合と同じです。

7 卒業までの学修

自己の進路と学習の進め方については、学科で実施する履修のガイダンスに必ず出席し、その内容を十分理解して学習に励み、間違いなく所期の目的を達成するようにしてください。また、高等学校までと異なり、自己責任と自己管理が一層重要になってきていることを自覚し学修してください。

原則以下の条件を満たした場合、上級学年次へ進級することとなります。

- ① 必要な学費およびその他の費用を納入していること。
- ② 同一学年に合算して12ヶ月以上在学していること。ただし、休学期間は在学期間に含まない。
- ③ 上級学年次に進級するための条件がある場合は、その条件を満たしていること(詳しくは、「進級条件」の項を参照してください)。

※3月の判定時に休学中の者も、①、②、③を満たしていれば上級学年次へ進級することとなります。

8 進級と留年

同一学年に合算して12ヶ月以上在学（休学期間は在学期間に含まない）した者を対象に1年次から2年次および3年次から4年次に進級する際に進級制度があります。なお、進級判定時に休学中の者も対象となります。留年もしくは卒業延期となった場合、入学した年度のカリキュラム（進級・卒業条件を含む）が適用され、留年により変更しません。

なお、転学部・編入学・転学科・再入学者等は、正規に進級してきた学年（1年次の場合は新入生）と同一のカリキュラムが適用されます。

同一学年に通算して4年の在学をこえてなお進級できない者は除籍となります。

進級条件は以下のとおりです。履修の際にはこれらの条件もしっかりと把握し履修登録するようにしてください。

8-1 進級判定時期

- ・1年次から2年次へ進級するとき。
- ・3年次から4年次へ進級するとき。

8-2 1年次から2年次への進級条件

建築学科	1年次終了時に28単位以上修得していること（自由科目は含まない）。
情報メディア学科	1年次終了時に24単位以上修得していること（自由科目は含まない）。
ロボット・メカトロニクス学科	1年次終了時に30単位以上修得していること（自由科目は含まない）。

8-3 2年次から3年次への進級

2年次から3年次への成績による進級条件はありません（ただし、前記の学籍及び学費の条件を満たす必要があります）。

成績による進級条件がない場合であっても、後記の3年次から4年次への進級条件を満たすように履修計画をたて、確実に学修を進める必要があります。

8-4 3年次から4年次への進級条件

建築学科	①人間科学科目10単位、英語科目4単位以上修得していること（自由科目は含まない）。 ②3年次終了時まで110単位以上修得していること（自由科目は含まない）。 ③「建築資格講座Ⅱ」を単位修得していること。
------	---

情報メディア学科	①人間科学科目 10 単位、英語科目 4 単位以上修得していること（自由科目は含まない）。 ② 3 年次終了時まで 106 単位以上修得していること（自由科目は含まない）。 ③ 3 年次までに配当されている必修科目を全て単位修得していること。
ロボット・メカトロニクス学科	①人間科学科目 10 単位、英語科目 4 単位以上修得していること（自由科目は含まない）。 ② 3 年次終了時まで 106 単位以上修得していること（自由科目は含まない）。 ③ 3 年次までに配当されている必修科目 21 科目 44 単位をすべて単位修得していること。 ④以下の進級コード R1 の専門選択科目 16 科目 40 単位中 20 単位以上を修得していること。 ※別表 1【進級コード R1】 ⑤以下の進級コード R2 の専門選択科目 17 科目 34 単位中 10 単位以上を修得していること。 ※別表 2【進級コード R2】

※別表 1【進級コード R1】（科目名のあとの丸数字は単位数を表す）

メカトロニクス基礎力学および演習Ⅰ③ メカトロニクス基礎力学および演習Ⅱ③ ロボット運動学② 設計製図Ⅰ④ プログラム基礎Ⅱ② プログラム基礎Ⅲ② 基礎電気工学② 電気回路② システムモデリングおよび演習④ 制御工学および演習④ 集合と論理② 離散数学② ベクトル解析② フーリエ解析② 複素解析学Ⅰ② 確率・統計Ⅰ②

別表 2【進級コード R2】（科目名のあとの丸数字は単位数を表す）

材料力学および演習② 加工学② 熱・流体力学② アルゴリズムとデータ構造② 情報理論② オペレーティングシステム② 電子工学② デジタル回路② 信号処理② 制御系設計② 計測工学② 現代制御理論② 数値解析② 最適化法② メカトロニクスのための数学および演習② 複素解析学Ⅱ② 確率・統計Ⅱ②
--

9 卒業

9-1 卒業条件

4 年次生に合算して 12 ヶ月以上在学（休学期間は在学期間に含まない）した者を対象に卒業判定を実施します。判定時に休学中の者は対象としません。

なお、本学部を卒業するためには、以下の全ての条件を満たすことが必要です。

【卒業条件】

- ① 卒業するために必要な単位数（卒業所要単位数）を修得していること。
- ② 自分の所属する学科に配当されている必修科目の単位の全部を修得していること。※1※2
- ③ 合計 4 年以上（8 年以内）在学していること。※3

- ④ 卒業までに必要な学費およびその他の費用の全額を納入していること。
- ⑤ 卒業判定時に休学していないこと。
- ※1 建築学科では、必修科目の他に選択科目の「特別研究」、「特別設計」の両方またはいずれかを履修し、修得する必要があることに注意してください。
- ※2 情報メディア学科では、2ユニットの修了が「卒業研究 A」の合格必要条件となっていることに注意してください。詳しくは学科の「履修モデル」の項を参照してください。
- ※3 在学期間が4年未満での卒業については「早期卒業」の項を参照してください。

9-2 区分別卒業所要単位数

	区分	単位数	
		建築学科	情報メディア学科 ロボット・メカトロニクス学科
共通教育科目	人間科学科目 スキル・キャリア コミュニケーション スポーツ・健康 人間理解 社会理解 異文化理解 技術者教養	16 単位 (「技術者教養」科目 2 単位を含む)	
	英語科目	6 単位	
専門教育科目	基礎共通科目 専門科目 学部キャリア科目	96 単位	88 単位
	任意に選択し、修得した科目	10 単位	14 単位
	合計	128 単位	124 単位

特色ある教育を推進するために、卒業所要単位の中に学生の個性に合わせて選択できる科目が設けられています。これが、上記の表中の「任意に選択し、修得した科目」で、修得した場合は卒業所要単位に建築学科は 10 単位、情報メディア学科、ロボット・メカトロニクス学科は 14 単位まで算入できます。この「任意に選択し、修得した科目」とは次の科目をいいます。

人間科学科目から 16 単位、英語科目から 6 単位、基礎共通科目・専門科目・学部キャリア科目から建築学科は 96 単位、情報メディア学科、ロボット・メカトロニクス学科は 88 単位を超えて修得した単位。

また、他学部・他学科科目を履修し、単位修得した科目は表中のそれぞれの区分の選択科目の単位として取扱われます。(但し、卒業所要単位数として算入できる単位は、他の大学等における授業科目の履修等(学則)と合わせて 60 単位を超えることはできません。)

9-3 卒業見込証明書

進級条件を満たし4年次に進んだ学生に卒業見込証明書を発行します。

卒業見込証明書は4月上旬より発行します。卒業見込証明書発行日については、掲示にて周知します。

※休学期間中は卒業見込証明書は発行されません。必要に応じ、学科に相談してください。

9-4 学位記

本学部を卒業すると、**学士（工学）**の学位が授与され、卒業時に学位記を授与します。本学の場合、学位記が卒業証書を兼ねますので、いわゆる卒業証書と称するものは授与しません。

一度発行した学位記は再発行しませんので、大切に保管してください。

9-5 3年間または3.5年間での卒業（早期卒業）

大学院への進学を前提としているきわめて成績優秀な学生は、以下の条件により3年間もしくは3.5年間の在学期間で卒業することが出来ます。希望する場合は、学科長に相談してください。

ただし、建築学科は3年間での卒業のみとなります。

また、3年次編入学者は早期卒業の対象となりません。

(1) 早期卒業着手条件

早期卒業に着手するためには、以下の全ての条件を満たす必要があります。

ただし、対象となる科目には、自由科目および工学部第二部の科目は含めません。

学科	早期卒業着手条件
建築学科	① 2年次後期終了時に94単位以上修得していること。 ② 2年次後期終了時のGPAが3.4以上であること。
情報メディア学科	● 3年間での卒業の場合 ① 2年次後期終了時に86単位以上修得していること。 ② 2年次後期終了時のGPAが3.4以上であること。 ● 3.5年間での卒業の場合 ① 3年次前期終了時に90単位以上修得していること。 ② 3年次前期終了時のGPAが3.3以上であること。
ロボット・メカトロニクス学科	2年次後期終了時（3年間での卒業の場合）もしくは3年次前期終了時（3.5年間での卒業の場合）のGPAが3.2以上であること。

(2) 早期卒業条件

3年間または3.5年間の在学期間で卒業するためには以下の全ての条件を満たす必要があります。ただし、以下の対象となる科目には、自由科目および工学部第二部の科目は含めません。

- ① 本人が3年次後期終了時もしくは4年次前期終了時（建築学科を除く）に卒業することを希望していること。ただし、大学院進学を前提とする。
- ② 在学期間が3年以上の学生であること。
- ③ 各学科に配当された必修科目の単位を全て修得していること。
- ④ 各学科が定める卒業所要単位数以上を修得済みであること。
- ⑤ 3年次から4年次への進級条件を満たしていること。
- ⑥ 学科長および学部長が早期卒業に相応しいと判断した者。
- ⑦ 各学科が定める以下の条件を満たしていること。

●各学科が定める早期卒業のための卒業条件

学科	早期卒業条件
建築学科	① 3年次後期終了時のGPAが3.4以上であること。 ② 特別研究、特別設計のいずれかの単位を修得していること。
情報メディア学科	● 3年間での卒業の場合 ① 3年次後期終了時のGPAが3.4以上であること。 ② 卒業研究Bの単位を修得していること。 ● 3.5年間で卒業の場合 ① 4年次前期終了時のGPAが3.3以上であること。 ② 卒業研究Bの単位を修得していること。
ロボット・メカトロニクス学科	早期卒業判定時（3年次後期終了時および4年次前期終了時）のGPAが3.4以上であること。

10 前期末卒業

(卒業条件を満たさず卒業延期になった者対象)

10-1 前期末卒業の条件

4年次に合算して12ヶ月以上在学（休学期間は在学期間に含まない）した者を対象に前期末卒業判定を実施します。判定時に休学中の者は対象としません。卒業所要単位数など所定の卒業条件を満たしたときは、前期末卒業（9月10日付）となります。

(所定の卒業条件)

卒業条件は入学した年度に学生に提示している卒業条件を適用する。

10-2 前期末卒業の希望確認（意志確認）の手続きについて

- (1) 年度末卒業判定が行なわれ卒業延期者が確定した3月の成績通知後に、学科長または学生アドバイザーから卒業延期者に対し「前期末卒業判定」が説明されます。⇒卒業延期者は、UNIPA【個人別情報】に表示されている連絡先に誤りがないか確認してください（後日、前期末卒業に関する連絡を学科から行う場合に使用します）。
- (2) 9月上旬の成績通知後に、「前期末卒業の対象者(前記の卒業条件を満たした者)」に対し、前期末卒業の希望確認（意志確認）を行います。卒業時期の確認手続きは以下によります。

(卒業時期の確認手続) 時期：9月上旬

対象学生への卒業時期の意志確認	前期成績が確定後、前期末卒業判定が実施され、判定結果が学科長へ通知されます。その結果を受け、学科長又は学生アドバイザーが、前期末卒業条件を満たした対象者全員に、前期末卒業（9月10日付卒業）とするか、または、翌年3月卒業とするかの卒業時期の希望を確認します。
卒業時期の確定	対象学生への意志確認 ①対象学生の意志確認ができ学生が前期末卒業を希望する場合、または、対象学生の意志確認が出来ない（連絡がつかない）場合 ⇒ 9月10日付で卒業となります。 ②対象学生より「翌年3月に卒業したい」旨の申請があった場合、定められた期間内に「翌年3月に卒業を希望する」旨の申請書（対象学生及び保証人の署名・捺印が必要）を学部長宛に提出する事により、翌年3月に卒業時期が変更となります。 ※後期も在籍となることから学費の支払い義務が発生します。保証人と充分相談し、希望を決定してください。

10-3 前期末卒業のための通年科目前期末評価実施願

前年度卒業延期者が通年科目を再履修して前期末卒業を希望する場合は、その科目の履修届を提出するだけでなく、「前期末卒業のための通年科目前期末評価実施願」を必ず提出しなければなりません（用紙は工学部・未来科学部事務部にあります）。

(手続き)

卒業延期者のうち、通年科目を前年度までに少なくとも1年間履修し単位未修得の者で、前期末卒業の可能性があると本人が判断し前期末卒業を希望する者は、前期履

修登録期間に「**前期末卒業のための通年科目前期末評価実施願**」を1科目につき1部
ずつ提出してください。

① 通年科目であれば必修科目・選択科目を問いません。

② 後期科目はこの手続きの対象外です。

※ 修得できた科目の単位は、前期末卒業できた場合、又、前期末卒業できずに翌
年3月に卒業する場合にも、修得科目として、卒業所要単位数に算入されます。

2013 (平成25)年度カリキュラム
未来科学部 全学科 授業科目配当表

人間科学科目-1

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配当期	備考
スキル・キャリア	フレッシュマンセミナー	1	2	選	1	半期(前)	1年次前期のみ開講
	文章表現法	1	2	選	1後234	半期(後)	
	東京電機大学で学ぶ	1	1	選	1	半期(前)	導入科目 e-Campus科目
コミュニケーション	教養演習(発表の技法)	前1後1	2	選	34	通年	平成25年度開講せず 集中講義(演習形式)
スポーツ・健康	健康と生活	1	2	選	全	半期(前/後)	
	スポーツコンセプト	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	トリムスポーツⅠ	2	2	選	1	半期(前)	
	トリムスポーツⅡ	2	2	選	1	半期(後)	
	スポーツ科学演習A	1	2	選	234	半期(前)	平成25年度開講せず
	スポーツ科学演習B	1	2	選	234	半期(後)	平成25年度開講せず
	アウトドアスポーツA	1	1	選	全	半期(後)	夏期集中講義
	アウトドアスポーツB	1	1	選	全	半期(後)	夏期集中講義
	アウトドアスポーツC	1	1	選	全	半期(後)	冬期集中講義
人間理解	哲学入門	1	2	選	全	半期(前/後)	
	記号論理学	1	2	選	全	半期(前/後)	
	倫理学入門	1	2	選	全	半期(前/後)	
	自己心理学セミナー	1	2	選	全	半期(前/後)	
	人間関係の心理	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	認知心理学	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	歴史理解の基礎	1	2	選	全	半期(前/後)	
	芸術	1	2	選	全	半期(前/後)	(1)音楽,(2)美術 時間割上履修学年に制限がかかることがある。
社会理解	法律入門	1	2	選	全	半期(前/後)	
	日本国憲法	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	国際政治の基礎	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	日本経済入門	1	2	選	全	半期(前/後)	月曜2時限e-Campus科目
	企業と経営	1	2	選	全	半期(前/後)	
	企業と社会	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	グローバル社会の市民論	1	2	選	全	半期(前/後)	平成25年度後期開講せず 時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	大学と社会	1	2	選	全	半期(後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	介護福祉論	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
異文化理解	アメリカ理解	1	2	選	全	半期(前)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	ヨーロッパ理解	1	2	選	全	半期(前/後)	
	アジア理解	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	ドイツ語Ⅰ	1	2	選	全	半期(前)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	ドイツ語Ⅱ	1	2	選	全	半期(後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	中国語Ⅰ	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	中国語Ⅱ	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
	比較文化論	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。
武道と日本人のこころ	1	2	選	全	半期(前/後)	時間割上履修学年に制限がかかることがある。	

2013（平成25）年度カリキュラム
未来科学部 全学科 授業科目配当表

人間科学科目-2

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配当期	備考
共通教育科目 技術者教養	技術者倫理	1	2	選	234	半期(前/後)	平成25年度開講せず
	失敗学	1	2	選	234	半期(前/後)	平成25年度開講せず
	情報倫理	1	2	選	234	半期(前/後)	平成25年度開講せず
	製造物責任法	1	2	選	234	半期(前/後)	平成25年度開講せず
	情報化社会と知的財産権	1	2	選	234	半期(前/後)	平成25年度開講せず
	特許法	1	2	選	234	半期(前/後)	平成25年度開講せず
	情報とネットワークの経済社会	1	2	選	234	半期(前/後)	平成25年度開講せず
	科学技術と企業経営	1	2	選	234	半期(前/後)	平成25年度開講せず
	情報化社会とコミュニケーション	1	2	選	234	半期(前/後)	平成25年度開講せず
	コンピュータと人間社会	1	2	選	234	半期(前/後)	平成25年度開講せず
	情報と職業	1	2	選	234	半期(前/後)	平成25年度開講せず
	地球環境論	1	2	選	234	半期(前/後)	平成25年度開講せず
	科学技術と現代社会	1	2	選	234	半期(前/後)	平成25年度開講せず
	科学の社会史	1	2	選	234	半期(前)	平成25年度開講せず
技術の社会史	1	2	選	234	半期(後)	平成25年度開講せず	

技術者教養科目

よき技術者が備えるべき知識や教養を内容とした教養科目。
技術者倫理、関連法規、環境及び人間社会と科学技術の関わり、技術者をめぐる社会科学分野などで構成される。

技術者教養科目の中から選択して最小限1科目(2単位)を履修すること。

7科目区分のバランスよい履修をこころがけること。

2013（平成25）年度カリキュラム
未来科学部 全学科 授業科目配当表

英語科目－1

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配当期	備考
共通教育科目 英語科目	総合英語Ⅰ	1	1	選	1	半期(前)	総合英語Ⅰと口語英語Ⅰは同時に履修登録しなければならない。 習熟度別・複数学科の合併。
	口語英語Ⅰ	1	1	選	1	半期(前)	
	総合英語Ⅱ	1	1	選	1	半期(後)	総合英語Ⅱと口語英語Ⅱは同時に履修登録しなければならない。 習熟度別・複数学科の合併。
	口語英語Ⅱ	1	1	選	1	半期(後)	
	総合英語Ⅲ	1	1	選	2	半期(前)	習熟度別
	総合英語Ⅳ	1	1	選	2	半期(後)	習熟度別
	英語基礎演習Ⅰ	1	1	選	2	半期(前)	履修条件あり
	英語基礎演習Ⅱ	1	1	選	2	半期(後)	履修条件あり
	英語演習A	1	1	選	2	半期(前)	
	英語演習B	1	1	選	2	半期(後)	
	英語演習C	1	1	選	3	半期(前)	
	英語演習D	1	1	選	3	半期(後)	
	英語演習E	1	1	選	4	半期(前)	
	英語演習F	1	1	選	4	半期(後)	
	海外英語短期研修	随時	2	選	全	半期(前/後)	集中講義
	インターネットで学ぶ英語Ⅰ	随時	1	選	34	半期(前)	Web活用クラス
	インターネットで学ぶ英語Ⅱ	随時	1	選	34	半期(後)	Web活用クラス

履修上の制限について

1. 「総合英語Ⅰ」と「口語英語Ⅰ」は同時に履修しなければならない。(再履修者を除く)
2. 「総合英語Ⅱ」と「口語英語Ⅱ」は同時に履修しなければならない。(再履修者を除く)
3. 「英語基礎演習Ⅰ」は取得済み英語科目2単位以下、「英語基礎演習Ⅱ」は取得済み英語科目3単位以下である学生が対象。

2013（平成25）年度カリキュラム
 未来科学部 建築学科 授業科目配当表

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配 当 期	備 考	教 職
基礎 共通 科目	微分積分学および演習Ⅰ	2	4	必	1	半期(前)	初歩・基礎クラスのみ3コマ	コードなし
	線形代数学Ⅰ	1	2	必	1	半期(前)	初歩・基礎クラスのみ補習を4回行う	コードなし
	微分積分学および演習Ⅱ	2	4	選	1	半期(後)		112解析
	線形代数学Ⅱ	1	2	選	1	半期(後)		110代数
	物理学Ⅰ	1	2	選	1	半期(前)		コードなし
	物理学基礎演習	1	2	選	1	半期(前)	集中講義	コードなし
専門 教育 科目 専門 科目	コンピュータ基礎	1	2	必	1	半期(前)		基礎要件
	建築プログラミング	1	2	必	1	半期(後)		114コンピュ
	熱環境工学基礎	1	2	必	1	半期(後)		160工業
	建築設計概論	1	2	必	1	半期(後)		160工業
	音光環境工学基礎	1	2	必	2	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	建築力学Ⅰ	1	2	必	1	半期(後)		160工業
	建築力学演習Ⅰ	1	1	必	1	半期(後)		160工業
	保存と再生	1	2	選	2	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
	建築音響・光環境学及び演習	2	3	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
	建築CAD	1	2	必	2	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	建築計画	1	2	必	2	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	建築力学Ⅱ	1	2	必	2	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	建築力学演習Ⅱ	1	1	必	2	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	測量実習	2	2	選	2	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	構造設計概論	1	2	必	2	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	都市計画	1	2	必	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	西洋建築史	1	2	必	2	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
	空気環境工学	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	建築構法	1	2	必	2	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
	地域施設計画	1	2	必	2	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
	建築設備概論	1	2	必	2	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
	建築施工	1	2	必	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	材料・構造実験	2	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	建築・都市と情報デザイン	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	鉄筋コンクリート構造	1	2	必	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	建築材料	1	2	必	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	アルゴリズムミックデザイン	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	応力の可視化	1	2	必	3	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
	建築法規	1	2	必	3	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
	空間計画	1	2	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
	建築都市デザイン	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	日本建築史	1	2	必	2	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	鉄骨構造	1	2	必	3	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
	地域整備計画	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	建築デザイン	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	都市建築史	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
先端建築設備学	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業	
弾塑性力学	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業	
絵画	1	1	選	1	半期(前)		コードなし	
建築見学演習	1	1	選	2	半期(後)	集中講義	160工業	
設計・パフォーマンスⅠ	2	2	必	1	半期(前)		160工業	
設計・パフォーマンスⅡ	4	4	必	1	半期(後)		160工業	
設計・パフォーマンスⅢ	4	4	必	2	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業	
設計・パフォーマンスⅣ	4	4	必	2	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業	
設計・パフォーマンスⅤ	4	4	必	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業	
設計・パフォーマンスⅥ	4	4	必	3	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業	
設計・パフォーマンスⅦ	2	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業	

2013（平成25）年度カリキュラム
 未来科学部 建築学科 授業科目配当表

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配当 期	備考	教職	
専 門 教 育 科 目	ベーシック・デザイン	1	2	必	1	半期(後)		160工業	
	研究・設計レビュー	1	2	必	3	半期(後)	平成25年度開講せず	コードなし	
	特別研究	前4後4	8	選	4	通年	「特別研究」「特別設計」は両方又はいずれかを選択/平成25年度開講せず	コードなし	
	特別設計	4	4	選	4	半期(後)	「特別研究」「特別設計」は両方又はいずれかを選択/平成25年度開講せず	コードなし	
	ワークショップⅠ	1	1	選	1	半期(前)		コードなし	
	ワークショップⅡ	3	3	選	1	半期(後)	集中講義	コードなし	
	建築資格講座Ⅰ	1	2	選	2	半期(後)	平成25年度開講せず	コードなし	
	建築資格講座Ⅱ	1	2	必	3	半期(後)	平成25年度開講せず	コードなし	
	インターンシップⅠ	随時	2	選	4	四半期(前前)	集中講義/平成25年度開講せず	コードなし	
	インターンシップⅡ	随時	2	選	4	四半期(前後)	集中講義/平成25年度開講せず	コードなし	
	インターンシップⅢ	随時	2	選	4	四半期(後前)	集中講義/平成25年度開講せず	コードなし	
	インターンシップⅣ	随時	2	選	4	四半期(後後)	集中講義/平成25年度開講せず	コードなし	
	化学Ⅰ	1	2	選	1	半期(前)		コードなし	
	物理実験	1	1	選	1	半期(前)		コードなし	
	微分方程式Ⅰ	1	2	選	2	半期(前)	平成25年度開講せず	112解析	
	フーリエ解析	1	2	選	2	半期(後)	平成25年度開講せず	112解析	
	職業指導	前1後1	4	自	3	通年	平成25年度開講せず	160工業	
	代数学入門	1	2	自	1	半期(後)		110代数	
	代数学	1	2	自	2	半期(後)	平成25年度開講せず	110代数	
	幾何学	1	2	自	3	半期(前)	平成25年度開講せず	111幾何	
	微分幾何学	1	2	自	3	半期(後)	平成25年度開講せず	111幾何	
	解析学	1	2	自	3	半期(前)	平成25年度開講せず	112解析	
	複素解析学Ⅰ	1	2	自	2	半期(前)	平成25年度開講せず	112解析	
	複素解析学Ⅱ	1	2	自	3	半期(後)	平成25年度開講せず	112解析	
	数式処理	1	2	自	2	半期(前)	集中講義/平成25年度開講せず	114コンピュ	
	線形代数学Ⅲ	1	2	自	2	半期(前)	平成25年度開講せず	110代数	
	微分方程式Ⅱ	1	2	自	3	半期(後)	平成25年度開講せず	112解析	
	確率・統計Ⅰ	1	2	自	2	半期(前)	平成25年度開講せず	113確統	
	確率・統計Ⅱ	1	2	自	2	半期(後)	平成25年度開講せず	113確統	
	学 部 キ ャ リ ア 科 目	未来科学キャリアワークショップ	1	2	必	2	半期(前/後)	平成25年度開講せず	コードなし
		未来科学プロジェクトA	1	2	選	3	半期(前/後)	3年次のみ開講/平成25年度開講せず	コードなし
		未来科学プロジェクトB	1	2	選	4	半期(前/後)	4年次のみ開講/平成25年度開講せず	コードなし

2013（平成25）年度カリキュラム
 未来科学部 情報メディア学科 授業科目配当表

F I - 1

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配 当 期	備考	教職
基礎 共通 科目	微分積分学および演習Ⅰ	2	4	必	1	半期(前)	初歩・基礎クラスのみ3コマ	コードなし
	線形代数学Ⅰ	1	2	必	1	半期(前)	初歩・基礎クラスのみ補習を4回行う	コードなし
	微分積分学および演習Ⅱ	2	4	選	1	半期(後)		112解析
	線形代数学Ⅱ	1	2	選	1	半期(後)		110代数
	物理学Ⅰ	1	2	選	1	半期(前)		コードなし
専門 教育 科目	物理学基礎演習	1	2	選	1	半期(前)	集中講義	コードなし
	スタートアップ・ゼミ	1	2	必	1	半期(前)		コードなし
	情報メディア概論	1	2	必	1	半期(前)		160工業
	コンピュータプラクティス	1	1	必	1	四半期(前前)		160工業
	プログラミング入門	2	2	必	1	四半期(前後)		114コンピュ
	メディア演習Ⅰ	2	2	必	1	半期(後)		160工業
	Webページ制作	1	1	必	1	四半期(前後)		160工業
	基礎情報数学A(離散数学)	1	1	必	1	四半期(後前)		114コンピュ
	情報科学の基礎	1	2	必	1	半期(後)		114コンピュ
	プログラミング基礎	2	4	必	1	半期(後)		基礎要件
	感性・情報イメージング	1	2	選	1	半期(前)		134情⑤
	人間中心設計	1	2	選	1	半期(後)		160工業
	メディア演習Ⅱ	2	2	必	2	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	微分方程式Ⅰ	1	2	選	2	半期(前)	平成25年度開講せず	112解析
	基礎情報数学B(確率論と情報理論)	1	2	選	2	半期(前)	平成25年度開講せず	113確統
	メディア処理の基礎数学(線形代数学Ⅲ)	1	2	選	2	半期(前)	平成25年度開講せず	110代数
	情報ネットワーク	1	2	選	2	半期(前)	平成25年度開講せず	133情④
	情報ネットワーク演習	1	1	選	2	半期(前)	集中講義/平成25年度開講せず	160工業
	データ記述とXML	2	2	選	2	四半期(後後)	平成25年度開講せず	160工業
	オペレーティングシステム	1	1	選	2	四半期(前前)	平成25年度開講せず	131情②
	形式言語とオートマトン	1	2	選	2	半期(前)	平成25年度開講せず	131情②
	オブジェクト指向プログラミングおよび演習	2	4	必	2	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	メディア信号処理	1	1	選	2	四半期(前前)	平成25年度開講せず	160工業
	数理統計学	1	2	選	2	半期(後)	平成25年度開講せず	113確統
	データベース	1	2	選	2	半期(後)	平成25年度開講せず	132情③
	コンパイラ	1	2	選	2	半期(後)	平成25年度開講せず	131情②
	論理回路とコンピュータ構成の基礎	1	2	選	2	半期(後)	平成25年度開講せず	131情②
	データ構造とアルゴリズム	1	2	必	2	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
	データ構造とアルゴリズム演習	1	2	選	2	半期(後)	平成25年度開講せず	132情③
	GUIプログラミング	1	2	選	2	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
	コンピュータ音楽	1	2	選	2	半期(後)	平成25年度開講せず	134情⑤
	映像表現演習	2	2	選	2	四半期(後前)	平成25年度開講せず	134情⑤
	メディアプログラミング演習	1	2	選	2	半期(後)	平成25年度開講せず	131情②
	情報メディア基礎ゼミ	1	2	必	3	半期(前)	平成25年度開講せず	コードなし
	コンピュータアーキテクチャと機械語演習	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	131情②
	情報技術基礎および演習	1	2	必	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	CGモデリングおよび演習	2	3	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	134情⑤
	画像処理	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	コンピュータ音楽作品制作演習	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	134情⑤
	人間情報システムおよび演習	1	2	選	34	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
ヒューマンインタラクションおよび演習	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業	
データベースプログラミング演習	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	132情③	
サーバ設計論	1	1	選	3	四半期(前前)	平成25年度開講せず	133情④	
サーバプログラミング演習	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	133情④	
情報セキュリティの基礎と暗号技術	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	133情④	
ソフトウェア設計	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	132情③	

2013（平成25）年度カリキュラム
 未来科学部 情報メディア学科 授業科目配当表

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配 当 期	備 考	教 職	
専 門 教 育 科 目	専 門 科 目	情報メディア応用ゼミ	2	4	必	3	半期(後)	平成25年度開講せず	コードなし
		人工知能とコンピュータ	1	2	選	34	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
		デジタルシステム設計および演習	1	2	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	131情②
		CGレンダリングおよび演習	2	3	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	134情⑤
		音声・音響情報処理	1	2	選	34	半期(後)	平成25年度開講せず	134情⑤
		画像処理演習	2	2	選	3	四半期(後前)	平成25年度開講せず	コードなし
		メディア情報学	1	2	選	34	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
		情報アクセスと知的処理	1	1	選	34	四半期(後前)	平成25年度開講せず	132情③
		Web情報システム演習	2	2	選	3	四半期(後後)	平成25年度開講せず	132情③
		ネットワークプログラミング	1	2	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	133情④
		ネットワークプログラミング演習	1	1	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	133情④
		情報システム論	1	2	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	132情③
		プログラミング言語論	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
		形状処理および演習	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
		コンピュータアニメーションおよび演習	2	2	選	4	四半期(前後)	平成25年度開講せず	134情⑤
		バーチャルリアリティ	1	1	選	4	四半期(前前)	平成25年度開講せず	134情⑤
		インタラクションデザイン	1	1	選	4	四半期(前後)	平成25年度開講せず	134情⑤
		ネットワークセキュリティおよび演習	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	133情④
		ソフトウェア分析・モデリング	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	132情③
		専 門 教 育 科 目	教 職 関 連 科 目	インターンシップ	随時	2	選	34	通年
卒業研究A	前1後1			2	必	4	通年	2つのユニットの修了をもって、最終的な単位認定がされる/平成25年度開講せず	コードなし
卒業研究B	前2後2			4	選	4	通年	単位修得することを推奨する/平成25年度開講せず	コードなし
職業指導	前1後1			4	自	3	通年	平成25年度開講せず	160工業
代数学入門	1			2	自	1	半期(後)		110代数
代数学	1			2	自	2	半期(後)	平成25年度開講せず	110代数
幾何学	1			2	自	3	半期(前)	平成25年度開講せず	111幾何
微分幾何学	1			2	自	3	半期(後)	平成25年度開講せず	111幾何
解析学	1			2	自	3	半期(前)	平成25年度開講せず	112解析
数式処理	1			2	自	2	半期(前)	集中講義/平成25年度開講せず	114コンピユ
学 部 キ ャ リ ア 科 目	学 部 キ ャ リ ア 科 目	微分方程式Ⅱ	1	2	自	2	半期(後)	平成25年度開講せず	112解析
		複素解析学Ⅰ	1	2	自	3	半期(前)	平成25年度開講せず	112解析
		複素解析学Ⅱ	1	2	自	3	半期(後)	平成25年度開講せず	112解析
		未来科学キャリアワークショップ	1	2	必	2	半期(前/後)	平成25年度開講せず	コードなし
学 部 キ ャ リ ア 科 目	学 部 キ ャ リ ア 科 目	未来科学プロジェクトA	1	2	選	3	半期(前/後)	3年次のみ開講/平成25年度開講せず	コードなし
		未来科学プロジェクトB	1	2	選	4	半期(前/後)	4年次のみ開講/平成25年度開講せず	コードなし

2013（平成25）年度カリキュラム
 未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科 授業科目配当表

FR-1

区分	分野	進級コード	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配 当 期	備 考	教 職	
専門 教育科目	基礎 共通	P	線形代数学Ⅰ	1	2	必	1	半期(前)	初歩・基礎クラスのみ補習を4回行う	コードなし	
		P	微分積分学および演習Ⅰ	2	4	必	1	半期(前)	初歩・基礎クラスのみ3コマ	コードなし	
			線形代数学Ⅱ	1	2	選	1	半期(後)		110代数	
			微分積分学および演習Ⅱ	2	4	選	1	半期(後)		112解析	
	共通 基礎	P	物理学Ⅰ	1	2	必	1	半期(前)		コードなし	
			物理学基礎演習	1	2	選	1	半期(前)	集中講義	コードなし	
			化学Ⅰ	1	2	選	1	半期(前)		コードなし	
			物理学Ⅱ	1	2	選	1	半期(後)		コードなし	
		P	立体認識・基礎製図	2	4	必	1	半期(前)		160工業	
		P	コンピュータ基礎	1	2	必	1	半期(前)		基礎要件	
		P	機械要素・機構学	1	2	必	1	半期(後)		160工業	
		P	電気磁気学	1	2	必	1	半期(後)		160工業	
		P	プログラム基礎Ⅰ	1	2	必	1	半期(後)		131情②	
		P	基礎制御工学および演習	2	4	必	1	半期(後)		112解析	
		R1	集合と論理	1	2	選	2	半期(前)	平成25年度開講せず	114コンピュ	
		R1	離散数学	1	2	選	2	半期(後)	平成25年度開講せず	114コンピュ	
		R1	ベクトル解析	1	2	選	2	半期(前)	平成25年度開講せず	112解析	
		R1	フーリエ解析	1	2	選	2	半期(後)	平成25年度開講せず	112解析	
	R1	確率・統計Ⅰ	1	2	選	2	半期(前)	平成25年度開講せず	113確統		
	R1	複素解析学Ⅰ	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	112解析		
	R2	確率・統計Ⅱ	1	2	選	2	半期(後)	平成25年度開講せず	113確統		
	R2	複素解析学Ⅱ	1	2	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	112解析		
	R2	数値解析	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	131情②		
	R2	メカトロニクスのための数学および演習	1	2	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	112解析		
	R2	最適化法	1	2	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	112解析		
	専門 科目	電気	R1	基礎電気工学	1	2	選	2	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
			R1	電気回路	1	2	選	2	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
			R2	電子工学	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
			R2	デジタル回路	1	2	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	131情②
			R2	信号処理	1	2	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	134情⑤
		機械	R1	メカトロニクス基礎力学および演習Ⅰ	2	3	選	2	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
			R1	ロボット運動学	1	2	選	2	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
			R1	メカトロニクス基礎力学および演習Ⅱ	2	3	選	2	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
			R1	設計製図Ⅰ	2	4	選	2	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業
			R2	材料力学および演習	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業
	R2		加工学	1	2	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業	
	情報	R1	プログラム基礎Ⅱ	1	2	選	2	半期(前)	平成25年度開講せず	131情②	
		R1	プログラム基礎Ⅲ	1	2	選	2	半期(後)	平成25年度開講せず	132情③	
		R2	情報理論	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	133情④	
		R2	アルゴリズムとデータ構造	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	131情②	
		R2	オペレーティングシステム	1	2	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	132情③	
	制御	R1	システムモデリングおよび演習	2	4	選	2	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業	
		R1	制御工学および演習	2	4	選	2	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業	
		R2	計測工学	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業	
R2		制御系設計	1	2	選	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業		
		R2	現代制御理論	1	2	選	3	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業	

2013（平成25）年度カリキュラム
 未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科 授業科目配当表

FR-2

区分	分野	進級コード	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配 当 期	備 考	教 職		
専門教育科目	統合		システム同定	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業		
			ロボットセンシング	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	133情④		
			コンピュータネットワーク	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	133情④		
			コンピュータシミュレーション	1	2	選	4	半期(前)	集中講義/平成25年度開講せず	134情⑤		
			パワーエレクトロニクス	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	134情⑤		
			デジタル制御	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	134情⑤		
			事象駆動システム	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	132情③		
			設計製図Ⅱ	1	2	選	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業		
			ロボット動力学	1	2	選	4	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業		
			ロボットインターフェース	1	2	選	4	半期(後)	平成25年度開講せず	133情④		
	実験・実習			物理実験	2	1	選	1	半期(前/後)	メカトロニクス基礎実験Ⅰ（必修）の前提条件	コードなし	
				ワークショップ	2	2	選	1	半期(前/後)	メカトロニクス基礎実験Ⅰ（必修）の前提条件	コードなし	
		P		メカトロニクス基礎実験Ⅰ	2	2	必	2	半期(前)	平成25年度開講せず	134情⑤	
		P		メカトロニクス基礎実験Ⅱ	2	2	必	2	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業	
		P		メカトロニクス総合実験Ⅰ	2	2	必	3	半期(前)	平成25年度開講せず	133情④	
		P		メカトロニクス総合実験Ⅱ	2	2	必	3	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業	
				メカトロニクス設計製作Ⅰ	2	1	必	4	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業	
				メカトロニクス設計製作Ⅱ	2	1	必	4	半期(後)	平成25年度開講せず	160工業	
	プロジェクト・研究	P		STゼミⅠA	1	1	必	1	四半期(前前)		コードなし	
		P		STゼミⅠB	1	1	必	1	四半期(後前)		コードなし	
		P		STゼミⅡA	1	1	必	2	四半期(前後)	平成25年度開講せず	コードなし	
		P		STゼミⅡB	1	1	必	2	四半期(後後)	平成25年度開講せず	コードなし	
		P		STゼミⅢ	1	2	必	3	半期(前)	平成25年度開講せず	コードなし	
		P		メカトロニクス輪講	1	2	必	3	半期(後)	平成25年度開講せず	コードなし	
				卒業研究Ⅰ	3	3	必	4	半期(前)	平成25年度開講せず	コードなし	
				卒業研究Ⅱ	3	3	必	4	半期(後)	平成25年度開講せず	コードなし	
		専門教養			英語で学ぶ数学と物理Ⅰ	1	1	選	1	四半期(前前)		コードなし
					英語で学ぶ数学と物理Ⅱ	1	1	選	1	四半期(後前)		コードなし
	教職関連科目			代数学入門	1	2	自	1	半期(後)		110代数	
				代数学	1	2	自	2	半期(後)	平成25年度開講せず	110代数	
				微分方程式Ⅱ	1	2	自	2	半期(後)	平成25年度開講せず	112解析	
				数式処理	1	2	自	2	半期(前)	集中講義/平成25年度開講せず	114コンピ	
				線形代数学Ⅲ	1	2	自	2	半期(前)	平成25年度開講せず	110代数	
				幾何学	1	2	自	3	半期(前)	平成25年度開講せず	111幾何	
				微分幾何学	1	2	自	3	半期(後)	平成25年度開講せず	111幾何	
				解析学	1	2	自	3	半期(前)	平成25年度開講せず	112解析	
				職業指導	前1後1	4	自	3	通年	平成25年度開講せず	160工業	
	キャリア教育	P		メカトロニクス学	1	2	必	3	半期(前)	平成25年度開講せず	160工業	
				インターンシップ	随時	2	選	34	通年	集中講義/平成25年度開講せず	コードなし	
				企業研究Ⅰ	1	1	選	3	四半期(前前)	平成25年度開講せず	コードなし	
			企業研究Ⅱ	1	1	選	3	四半期(後前)	平成25年度開講せず	コードなし		
P			未来科学キャリアワークショップ	1	2	必	2	半期(前/後)	平成25年度開講せず	コードなし		
			未来科学プロジェクトA	1	2	選	3	半期(前/後)	3年次のみ開講/平成25年度開講せず	コードなし		
		未来科学プロジェクトB	1	2	選	4	半期(前/後)	4年次のみ開講/平成25年度開講せず	コードなし			